

授業概要

科目名		理学療法技術論Ⅰ（整形外科疾患）			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	（2単位）	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
整形外科疾患に対する理学療法の評価および治療プログラム作製を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
具体的な症例を提示し実技を中心に、評価及び治療技術の習得を行います。実技を行える服装を用意してください。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
代表的な整形外科疾患の概要及びそれに対する理学療法の関わり方を理解する。各疾患に必要な評価及び治療プログラムが考察できる。									
回数	講義内容								
1	胸郭出口症候群、検査 評価 治療について								
2	腱板損傷 検査 手術方法 評価治療について								
3	肩関節不安定症 術後リハビリテーション								
4	肩関節周囲炎の評価と治療方法								
5	肩関節疾患の理学療法 機能解剖 評価								
6	肩関節疾患の理学療法								
7	腰痛の概論 機能解剖 バイオメカニクス								
8	腰痛の評価								
9	腰痛の治療 日常生活上の注意点								
10	屈曲型腰痛、伸展型腰痛の評価 仮説検証								
11	変形性膝関節症について 概論 機能解剖 バイオメカニクス								
12	変形性膝関節症の評価と治療								
13	変形性膝関節症について 評価治療実技								
14	変形性膝関節症について 評価治療実技								
15	鎖骨骨折 概論・評価～理学療法（実技含む）								
16	上腕骨近位端骨折 概論・評価～理学療法（実技含む）								
17	上腕骨外側顆骨折 概論・評価～理学療法（実技含む）								
18	橈骨遠位端骨折 概論・評価～理学療法（実技含む）								
19	大腿骨頸部/転子部骨折 概論・バイオメカニクス								
20	大腿骨頸部/転子部骨折 評価～理学療法								
21	大腿骨頸部/転子部骨折 評価～理学療法（実技含む）								
22	変形性股関節症 概論・バイオメカニクス								
23	変形性股関節症 評価～理学療法								
24	変形性股関節症 評価～理学療法（実技含む）								
25	腰椎圧迫骨折 概論・バイオメカニクス								
26	腰椎圧迫骨折 評価～理学療法								
27	腰椎圧迫骨折 評価～理学療法（実技含む）								
28	膝/下腿骨骨折 概論・バイオメカニクス								
29	膝/下腿骨骨折 評価～理学療法（実技含む）								
30	足部骨折 概論・バイオメカニクス 評価～理学療法（実技含む）								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
運動器（骨・関節・筋・補助装置など）の構造・機能について復習しておくこと									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学					加藤 浩		MEDICAL VIEW		
参考書籍名									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて評価する									